

フェス&カンファレンス2024 検討状況

川崎市市制100周年記念事業・
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局

COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th



開催結果 総括（第6回幹事会報告 抜粋）



● 全体を通じて

- 本イベントを通じて、様々な企業・団体・学校とつながり、市制100周年に向けた共創の場を創出できた。
- それぞれの持ち味を出し合い、役割を分担しながら進めるのが共創であるが、製作委員会メンバーや川崎市との関わり方が積極的過ぎても、消極的過ぎてもバランスが崩れてしまい、進め方が非常に難しかった。

〔課題〕

- 製作委員会の会員と協賛者の利益の考え方と役割を整理し明確にしておく必要がある。
- 具体的なイベントやプログラムの広報・周知期間が短く、十分な周知・認知に至らなかった。
- 市制100周年記念事業を盛り上げるため、企業・団体・学校等をより巻き込むための工夫が必要である。
- 動線の近い他のイベントと連携するなど、人を呼び込むための対策の検討が必要である。

● 今後に向けて

- 準備会を設置して、来年度の開催時期やコンセプトの検討など早期に着手して、計画的に進めていく。
- 来年開催の「都市緑化かわさきフェア」や「みんなの川崎祭」等と連携しながら、市制100周年を市全体で盛り上げられるよう調整していく。
- 来年度の市制100周年の本番に向けて、今回の課題を踏まえるとともに、令和7年度以降は自走することを見据えながら、事業計画・資金計画を含めて製作委員会で企画を進めていく。

準備会の設置



● 設置する目的

来年度の実施に向けて、全体スケジュールを早め、企画検討と広報の時間を確保することが重要であるため、準備会を設置して来年度の実施スキーム・コンセプトなどの基本的な設計を進める。

〔準備会メンバー〕

実行委員会共同事務局、令和5年度製作委員会メンバーの中から有志での参加

● 検討事項

1. 製作委員会スキームの見直し

製作委員会方式（会費制）はそのままに、会員になるメリット、会費額の設定を見直しながら、会員とスポンサーのメリットを明確化する。

2. 令和6年度コンセプトの検討

令和5年度は魅力を再発見できるイベントとして、回遊性の向上を目指す企画としたが、「あたらしい川崎」を創出する魅力の発信基地として、本来の役割を発揮できるようなコンセプトを検討する

（例：R5 都市回遊型イベント → R6 魅力集積型イベント）

3. 開催時期の検討

集客性の向上や広報の強化を図るため、令和5年度の「単独・分散開催」を見直して、他の実行委員会主催事業や緑化フェア等の連携・同時開催を検討し、来場者が何重にも楽しめるような工夫をする。

4. 開催場所の検討

制作費と広報費のコストプッシュとなる「単独・分散開催」を見直す。

（例：カンファレンスは、メイン会場1か所、サテライト会場は連携先のイベント）

スケジュール

